

かみ びりっかすの神さま

おかだじゆん 岡田 淳 / 作・絵
かいせいしゃ 偕成社

913
オ

はじめ てんこう 始が転校して入った4年1組は成績順に席が決まっていた。担任の市田先生が、みんなに競争させてがんばらせようとしているのだ。ところがはじめ、そんな教室につばさのある身長20センチくらいの男がいることに気がついた。男の名前は、びりっかす。成績がびりの子にしか見えならしい。始は彼に会いたくて勉強や運動ができないふりをしていたが、ある日、となりの席のみゆきにそのうそがばれてしまう。そこで二人は、算数テストで同時に最低点を取ることで一緒にびりっかすに会おうとする。

大どろぼう ホッツェンプロッツ



オトフリート=プロイスラー / 作 中村浩三 / 訳

F=J=トリップ / 絵 かいせいしゃ 偕成社

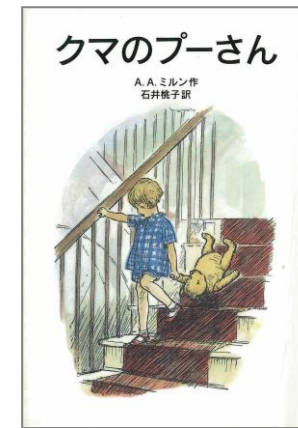
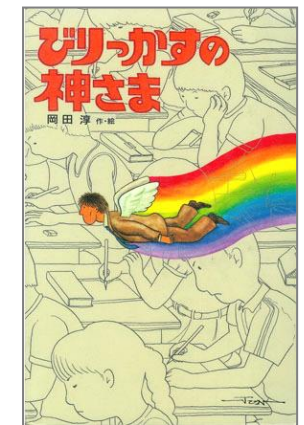
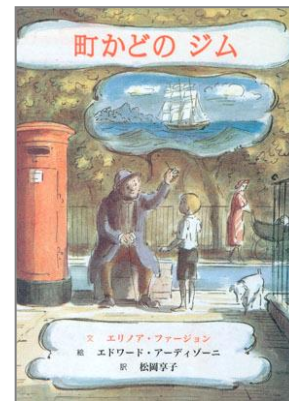
943
フ

カスパールのおばあさんの大事なコーヒーひきがぬすまれました。ぬすんだのは、だれもおそれる大どろぼうホッツェンプロッツ。カスパールと友だちのゼッペルは、ちえをしぼってどろぼうのかくれ家をつきとめようとしますが、ホッツェンプロッツにつかまってしまいます。ゼッペルはくさりにつながれてはたらかされ、カスパールは悪党の大魔法使いツワケルマンに売りとばされました。二人はぶじににげ出して、コーヒーひきを取り返せるでしょうか。

★ホッツェンプロッツシリーズは他に2冊あります。

本のぽけっと

3・4年生のころに一度は出会ってほしい
図書館おすすめの本を集めました。



- 中央図書館
- 平田図書室
- 自動車図書館
- 行徳図書館
- 信篤図書館
- 南行徳図書館
- 市川駅南口図書館

ここで紹介している本は市川市の図書館でかりることができます。

町かどのジム エリノア・ファージョン／文 松岡享子／訳

エドワード・アーディゾーニ／絵 童話館出版

933
7



町かどのポストのそばにミカン箱が一つ。

8歳のデリーが物心ついてから、ジムはいつだってそこにすわっていて、この通りにはなくてはならぬ

人でした。デリーは、いっしょにすわって、ジムが昔船乗りだった時の話を聞くのが大好きです。ナンキョクで行方不明になって親友のペンギンに助けられたり、南の島でチンパンジーに服をとられてしまったりと、ジムの冒険の話には、いつもわくわくさせられます。

なが長くつ下のピッピ 世界一つよい女の子

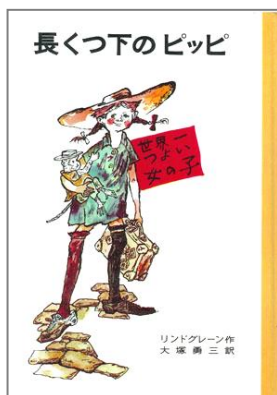
リンドグレーン／作 大塚勇三／訳 桜井誠／絵 岩波書店

949
リ

赤毛のおさをひつつめて、色のちがう長靴下に大きな靴をはいている、かわった女の子がごたごた荘に引っこしてきまし

た。その名もピッピ・ナガクツシタ。家族はサル、ニルソン氏と馬だけで、学校にも行っていません。木の上でお茶会をしたかと思えば、足にブラシをつけてゆかそうじ。おまけにとんでもない力持ちで、二人組みのどろぼうが入ってもかるがるとつかまえるし、火事の際は子ども二人をかかえて助け出しました。

★ピッピの活躍するゆかいなお話は他に2冊あります。



かおるのたからもの

征矢清／著 大社玲子／絵 あかね書房

913
ソ



かおるは、杉田くんからかりた本をなかなか返せずにいました。小さい弟がいたずらがきをしてしまったのです。ようやく勇気を出してあやまったけれど、杉田くんはゆるしてくれませんでした。なんとかきれいな同じ本を手に入れても、今度は受け取ってもらえません。どうしていいかわからないままむかえた夏休み、かおるは杉田くんから手紙をもらいます。そこでかおるは、あの本がどんなに大切な1冊であったかを知りました。

クマのプーさん A. A. ミルン／作 石井桃子／訳

E. H. シェパード／絵 岩波書店 (岩波少年文庫)

933
ミ

クマのプーは、ある時、親友のウサギの住む穴へ遊びに行きます。よいしょこら、よいしょこらと玄関をむりにとおりぬけ、やっと中に入りました。二人でお茶の時間をすごし、さて、帰ろうと穴からはい出しにかかりますが、前にも後ろにも進まなくなってしまいました。どうやらつまってしまったようなのです。

大らかなクリストファー・ロビンやたくさんの友だちにかこまれた、「ばっかなクマ」が引き起こす楽しい出来事がいっぱいあります。★プーさんのお話は、『プー横丁にたった家』もあります。

